おおひら 議会だより

No.210
令和8年10月29日
発行

宮城県
大衡村議会



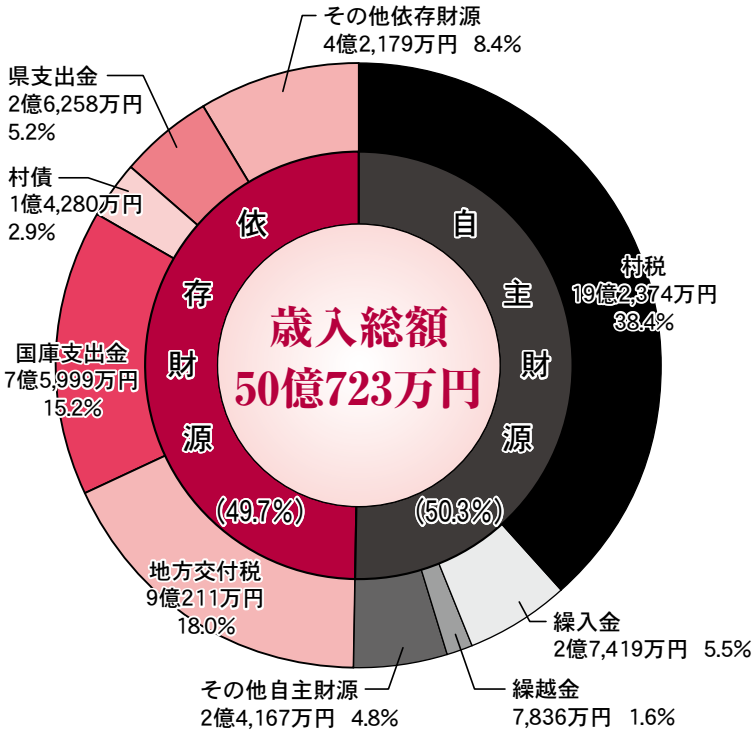
いーっぱいはいれー♪
（スポーツ交流大会）

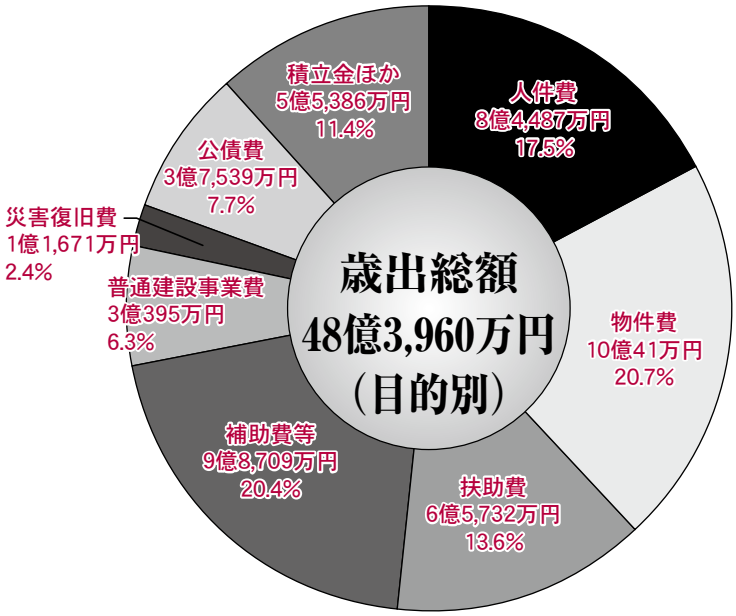
P2　令和７年度決算認定
P4　決算審査特別委員会
P11　一般質問
p19　区長との懇談会

令和7年度決算を認定

令和8年第3回定例会は、9月1日から11日までの11日間にわたり開かれ、令和7年度各種会計決算認定6件など22議案が提出され、全て原案可決された。

◆一般会計決算◆





歳入歳出差引残額 ･･･ 1億6,763万円
基金繰入額 ･･･････････････ 8,000万円
繰越金 ･･･････････････････ 8,763万円

◎特別会計決算

会計別		歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険事業		5億4,078万円	5億1,422万円
介護保険事業		6億5,280万円	6億2,352万円
後期高齢者医療		8,504万円	8,278万円
水道事業	収益的収支	2億6,888万円	2億4,863万円
	資本的収支	3,460万円	4,489万円
下水道事業	収益的収支	3億5,780万円	3億4,580万円
	資本的収支	4,654万円	1億1,264万円

みなさんのくらしのために
主要事業

デマンド型交通
3,768万円

運行委託料 …… 2,574万円
システム利用料 …… 689万円
車両借上料 …… 330万円
燃料費 …… 157万円
その他経費 …… 18万円
登録者数 …… 436人（実利用者数190人）
乗車人数 …… のべ10,454人
運行日数 …… 242日

医療費助成
3,191万円

0歳～18歳
未就学児　236人
小学生以上　727人
合　計　963人 …… 3,191万円

物価高騰支援
5,793万円

食料品高騰支援商品券（全村民　12,000円/人）
…… 5,320万円
2割増し商品券（発行額：2,400万円）… 473万円



移住定住補助金
765万円

住宅建築（若者世帯）　14件 …… 615万円
住宅建築（三世代同居）　1件 …… 100万円
奨学金返還支援　5件 …… 50万円





子育て支援
738万円

妊婦支援券　33人 …… 112万円
出産祝金（5万円×22人） …… 110万円
入学祝金（3万円×172人） …… 516万円
（小学生44人、中学生73人、高校生55人）

クマ・イノシシ対策
2,334万円

柿の木伐採等 …… 1,280万円
電気柵設置助成 …… 243万円
駆除対策協議会 …… 660万円
その他経費 …… 151万円

決算審査
特別委員会

どう使われたか

令和７年度各種会計決算審査のため、決算審査特別委員会（委員長　佐野英俊）が６日間にわたり開かれた。

特別委員会では各課に質疑を行い、審議した結果「認定すべき」と決定し、９月11日の本会議で議長に報告した。

主　な　質　疑

美術館管理

問　施設運営委託料825万円の内訳は。

答　指定管理料649万円、企画展作品運搬業務、絵画修復2点の業務委託料176万円である。

問　ふるさと美術館は、年末年始を除き毎日開館している。年10回の企画展の展示替え等に支障をきたしているのではないか。

答　他の博物館、美術館は週1日休館日を設けているので来年度に向けて検討したい。

割増し商品券

問　全村民に配布した国の物価高騰支援商品券とは別に、村単独の2割増し商品券も毎年発行しているが、今後も継続していくのか。

答　現在も物価高騰が続いている状況であり、使途先が村内限定である商品券は商工業者を支援することから継続していきたい。

タカカツ万葉キャンプ場

問　キャンプ場のPRとして開催されたティラノサウルスレースの内容は。

答　イベントに伴う景品や提供した食材を含む委託料である。参加者は村内7人、県内35人、県外2人であった。キャンプ場として施設の周知は出来た。



家族で楽しんだティラノサウルスレース

決算質疑

村のお金は

水道漏水調査

問 水道有収率が76％で全国平均より非常に低い。早急に改善すべきではないか。

答 専門業者による漏水調査を実施しているが、有収率の改善には至っていない。さらに対策を考えていく。



音調調査

デマンド型交通

問 デマンド型運行は村直営から7年度に外部委託しているが運行状況は。

答 登録者が436人でうち実利用者が190人である。運行日数242日、年間乗車人数のべ1045人である。

問 年間の運行回数や乗車状況等詳細がわからない。把握していないのか。

答 現状では利用状況の詳細までは把握できない。運行システム先とも協議し、便数等を分析できるよう努めていきたい。

村営住宅

問 住宅退去にかかる畳修繕費の個人負担が大きい。フローリングへの張り替えが出来ないのか。

答 修繕は畳、ふすま、障子、ハウスクリーニング等であるが、床材も考えていきたい。

ときわの松管理

問 中学校のときわの松管理に189万円を支出しているが業務内容は。

答 松の樹勢回復、マツクイムシ防除、剪定及び除草作業等である。



ときわの松（大衡中学校）

ふるさと納税

問　個人の寄附総額と経費の内訳は。

答　寄附総額２１０万円、１０５件である。
　経費については返礼品代56万円、委託料61万円、配送料10万円となり計１２７万円である。

スクールバス

問　スクールバスの修繕内容と更新予定は。

答　修繕の主なものはバス１台のエンジン載せ替えが２０６万円である。バス購入基金の残高は２２００万円であるが、更新には２６００万円を要する。

問　村内の企業が長年運行業務を行なっているが、会社所有車両の運行形態への移行は検討したか。

答　来年度以降の運行については、車両を含めて業者と協議をしなければならない。



小中学生の安全な登下校に

移住定住支援

問　定住支援策として住宅建築等の各種助成事業を実施しているが、空き家対策としての家財片付や建物解体補助は実績がない。助成対象要件を見直すべきではないか。

答　補助期間が令和６～８年度までだが、本年まで申し込み実績はない。
　来年度以降については、事業内容の見直しを検討していきたい。

大瓜神楽

問　村指定文化財である大瓜神楽が高齢化により活動を休止中である。
**　明治からの歴史ある貴重な民俗芸能であり、村としても活動継続に支援できないか。**

答　中学校の学習時間で大瓜神楽を披露していただいた。小中学生を含め広く継承者を村ホームページで募集を呼び掛けている。
　今後も神楽保存会と協議しながら、保存継承活動を支援していきたい。



中学校での大瓜神楽学習

各種相談業務

問　村では生活相談・人権相談・司法書士相談・健康相談などが行われているが年間実績は。

答　生活相談は週一回実施し７件、司法書士相談は月一回実施し27件となっている。

問　相談日には職員や人権擁護委員等が待機しているが、件数が少ないので予約制や回数を減らすことを検討しては。

答　人権擁護委員はボランティアで行っているので、今後も継続していきたい。

総括質疑

さらに詳しく村長に聴きました

水道事業の課題と対策

鈴木　和信

問　安定的な水道事業の経営には、費用の削減と有収率の向上が必要不可欠である。有収率は76％と年間漏水が20万トンで金額5千万円の損失となっている。有収率向上対策をどう考えているのか。

答　何もして来なかった訳ではなく音調調査や衛星調査等実施している。職員も4号線拡幅などで忙しく働いている。

問　本気で取り組まなければ、有収率は改善されない。結果を出す対策をどう考えているのか。

答　4月から新しい体制になり、音調調査やアセットマネジメント事業を進め、改善に努めたい。

問　令和3年から6年間75％代であり通算3億円が無駄になっているのと同じではないか。村の本気度とやる気を再度伺う。

答　漏水対策を計画的に実施していきたい。

施策事業の点検評価

石川　敏

問　デマンド型交通の運行は令和7年度から外部委託になっており、決算額は3768万円で前年比2・6倍もかかっている。

　料金は無料であり、自治体の公共サービスのあり方として他の施策との不公平さはないか。

答　デマンド運行は7年度から3台に増車し、予約システムを取り入れ利用しやすい運行体系となった。

　決算額は増えたが乗車人数も伸びており、利用者からは喜ばれている。

問　村の各施策も点検評価を制度化し、効率的な事業選定や適切な予算編成にあたっていくべきではないか。

答　各施策事業については、事業の必要性や緊急性、優先度を判断して事業を選定しており、実施計画を毎年度見直している。

　庁内の機構再編に伴い、新たな評価の仕組みを今後検討していく。

◆ 監査委員による審査 ◆

審査結果

一般会計及び特別会計、歳入歳出決算は正確であると認めた。

主な審査意見

①決算不用額

例年決算不用額が多く見受けられる。予算を精査検証し、効率的な予算執行に努められたい。

②負担金・補助金

補助の必要性や事業効果、根拠を精査し、補助金の適切化、公平性が保たれるよう要綱の見直しも必要である。

③クリエートパークキャンプ場

年間利用者数が見込みより大幅に少ない。キャンプ場整備に要した経費に対する事業効果を検証し、適切な管理運営に努められたい。

④行財政運営

人口減少を見据え、村民の幸福度を維持する各種整備事業や施策の縮小も視野に、将来の負担増を回避する地域づくりを考慮した行財政運営に取り組まれたい。

９月定例会

令和８年度補正予算

補正の主なもの

◎歳　入

村税（固定資産税）　……1億円
地方交付税　……2億3,152万円
財政調整基金繰入金　……△4億3,000万円

◎歳　出

水道基本料金減免　……620万円
上北沢排水処理施設用地取得　……1,887万円

主な質疑

農地流動化

問　農地中間管理機構から業務委託料として30万円の収入があるがその内容は。

答　農地流動化に伴う事務委託料で、事業推進の時間外手当と消耗品費である。

水道業務委託

問　水道業務のうち外部に委託する契約内容は。

答　水道業務の窓口受付、料金収納、滞納整理、メーター検針管理業務等を外部に委託する。
　委託期間は8年10月1日から9年3月31日まで、契約金額７４５万円である。料金収納は下水道、合併浄化槽料金も含む。

水道料減免

問　事業費６２０万円の内容は。

答　国の物価高騰対応臨時交付金を活用して、10月請求分の水道基本料金を減免する。
　自治体から給水を受けている世帯や井戸水のみを利用する世帯には給付金を支給する。

こども園太陽光発電

問　保育施設の太陽光発電整備交付金の内容は。

答　おおひら万葉こども園の太陽光発電に係る経費である。総事業費１０９１万円で、国補助５４５万円、村補助２７３万円、事業者負担２７３万円。

問　こども園と村の関わりは。

答　こども園とは、契約、申請、工事について協議していきたい。



太陽光発電が設置されるおおひら万葉こども園

小学校遊具

問　遊具の点検は定期的に行っているのか。また、今後遊具を増設する予定はあるか。

答　専門の業者が年に1回点検を行っている。今回サッカーゴールが破損したため交換する。小学校から遊具を増設する要望はないが意見を聞きながら今後検討をする。



更新されるサッカーゴール

演習場周辺事業

問　王城寺原演習場対策基金を財源にした使途事業の概要は。

答　大瓜藤ノ沢地区の農業用水路を現在の土側溝からコンクリート側溝に改修するもの。財源として演習場対策基金から269万円取り崩す。



改修される藤ノ沢農業用水路（大瓜上）

問　演習場境界周辺の水路はイノシシによる被害も甚大である。村事業で引き続き対応できないか。

答　演習場境界のイノシシ被害状況も確認しているので今後検討していきたい。

任命同意

教育委員の任命

大衡村教育委員会教育委員を任命することについて、議会の同意を求められ、採決の結果、同意しました。

採決結果

賛成11　反対0

任　期	4年（令和8年10月1日～令和12年9月30日）



わたなべ　いさむ
渡邊　勇 氏
（衡中）

財産取得

上北沢排水処理施設事業用地



取得予定地（水田）

面　　積：25,094㎡
取得価格：25,094,000円

村道認定

新たに路線認定（萱刈場上横前線）



延長：1,429m　幅員：4m

問　村道と国道交差点の信号設置と、周辺住宅の保護壁の設置を国土交通省に要望すべきではないか。

答　国土交通省に引き続き要望していきたい。

請負契約

五反田北住宅１号棟解体工事



契約金額：74,052,000円　請負者：㈱東洋環境開発

問　住宅解体後の跡地利用計画は決定しているのか。

答　行政財産から普通財産に移管する。跡地は五反田・亀岡地区計画内に含まれるので、民間宅地開発等も検討していきたい。



7名の議員が村政を問う

質問者一覧表

佐々木　金　彌
・王城寺原補償工事事務所の移転について

鈴　木　和　信
・太陽光発電設備の設置条例について
・クマ被害対策の強化を

小　川　克　也
・高校生への生活支援の充実を
・体育館にスポットクーラー等の設置を

細　川　運　一
・保育料を子育て支援策の中心に
・指定管理者選定と協定内容について

石　川　　敏
・ふるさと納税の取り組みを問う
・指定管理施設にかかる今後の方針は

赤　間　しづ江
・災害への備えを万全に

早　坂　美　華
・部活動・大衡塾等への交通手段確保へ
・地域おこし協力隊の活動状況は
・出張動物園の開催を

議会を傍聴してみませんか

皆さんが選んだ議員がどのような質問・発言をしているのか、村の執行部がどのような施策を考えているのか、是非議場で傍聴してみませんか。

次の定例会は

12月1日(火)

からの予定です

お問合せ先:大衡村議会事務局
☎345-6030
✉gikai@village.ohira.miyagi.jp

※会議録は大衡村議会ウェブサイトで閲覧できます。

王城寺原補償工事事務所の移転は
迅速な対応が懸念される



佐々木金彌（ささききんや）議員

村長　演習場に起因する障害の補償事業を実施し、周辺地域との円滑な関係づくりに貢献してきた事業拠点であり、移転ということは憂慮すべき事で受け入れ難い。

演習場の実態

問　年間を通じ演習する場内は荒廃し保水力が低下している。気候変動が激しく災害の発生が増えており、仙台で対処する事が可能と思うか。

村長　将来的にも演習が継続される限り、周辺も含め補償事業は適時・適切に実施してもらわなければならないと考えている。

仙台に移転すれば迅速な対応が困難になると危惧される。

村の対応

問　3町村の土地改良区や水利組合長の会議でも不安や反対の声が多い。来年3月の移転計画は不満であり声をあげるべきと思うが。

村長　村や住民との意思疎通で距離感が生じる事や花川ダム下流の土地改良区として心配している。村としては今後の動向を把握し県に訴えていきたい。

事務所の移転

問　宮城県農政部から、土地改良区に王城寺原補償工事事務所を仙台に移転したいと土地改良区に説明された。村に詳しい説明はあったのか。

村長　県からは、今後の事業見通しや県全体の組織的課題から仙台地方振興事務所への「機能移転」を検討していると説明があった。

問　王城寺原が演習場として使われてから、事務所は地元民にとって要望や相談の窓口であった。仙台に移る事で支障はないのか。



移転が検討される県王城寺原補償工事事務所



鈴木（すずき）　和信（かずのぶ）議員

太陽光発電設備の設置条例を独自の条例は設置しない

設置前規制

問　**設置促進と併せて住民説明会や災害防止策の事業者責任を明確にするべきではないか。**

村長　関係法令や県条例を遵守したい。環境配慮ガイドラインに沿って運用する。

問　**県条例やガイドラインでは詳細規制がなく、野放し状態ではないか。現に住民が災害移転や管理不十分で支障をきたしていることは知っているのか。**

村長　住民の移転は知らないが、敷地の管理不十分については知っている。

条例の必要性

問　**２０４０年問題や災害等が発生した場合の設置条例なしに何を根拠に行政指導をするのか。**

村長　適切な手続きや周辺環境に配慮するよう必要な指導を行う。

問　**条例は村の憲法である。ルールがなければ罰則もないので設置すべきではないか。**

村長　独自の条例は設置せず、自然豊かな環境と住民の安全安心を守っていく。



村最大級の太陽光発電施設（大森地区）

クマ被害対策の強化を今後とも被害軽減に努める

クマの出没対策

問　**スクールバス乗降所には、緩衝帯や電気柵の設置が必要ではないか。**

村長　電気柵は子どもが触れてしまう危険性があり困難である。

問　**放送による注意喚起だけでなく、巡視強化すべきではないか。**

村長　大衡村鳥獣駆除実施隊の皆様には24時間体制で活動していただいている。

問　**クマ出没対応マニュアルの作成が必要ではないか。**

村長　独自のマニュアルは作成していない。大和署と協議して作成中である。

箱わな

問　**箱わなは現在15基保有で、中には３００キロもあり６人がかりで設置するため、最新の箱わなを購入すべきではないか。**

村長　新たに3基購入予定だが、最新式は実施隊と協議して対応したい。

高校生への生活支援の充実を
優先順位を見極めたい



小川　克也（おがわ　かつや）議員

実態把握

問　高校生を持つ親は、毎日の送迎や授業料以外の出費が重なり家計を圧迫している世帯も少なくない。支援ニーズについてどのように把握しているか。

村長　複数の高校へ通学していることから把握しきれていない。
　次期こども計画策定に向けて、支援ニーズについて調査を実施していく。

負担軽減策

問　在学中の生活費等の負担軽減に向けてどのように充実を図っていく考えがあるか。

村長　子ども子育て支援施策全体のバランスや対象者の公平性を踏まえながら、その必要性を検討していきたい。

子ども子育て支援

**問　高校生世帯への支援内容が乏しいと感じる。
　子ども子育て支援全体のバランスについての評価は。**

村長　乳幼児期に対する支援を充実させる必要がある。限られた財源を効果的に活用し、支援施策全体のさらなる充実に努めていきたい。

給食費無償化財源

問　県で給食費無償化が実施される場合、本村はすでに給食費無償化である。既存財源を高校生世帯への支援に充当してはどうか。

村長　小学校の給食費として１９４５万円が県から交付される見込みである。
　子育て、教育、福祉など住民生活に必要な施策の中から、優先順位を見極め予算編成にあたりたい。

体育館にスポットクーラーを設置に向けて考えていく

問　体育館が避難所で利用される場合の暑さ対策は。

村長　地域防災計画の中で暑さ対策に努める。
　なお、防災協定を結んでいる民間企業からスポットクーラーの借用が可能である。

問　体育の授業や部活動での熱中症対策として、国では体育館の空調設備の設置を促している。スポットクーラーの導入を進めるべきではないか。

村長　近隣自治体の設置状況や活用できる補助制度を精査し、導入に向けて考えていきたい。



熱中症対策を講じて開催された中総体（村民体育館）



細川（ほそかわ）　運一（うんいち）　議員

保育料を子育て支援策の中心に

財源確保に向けて検討していく

紙おむつ無償化

問　村負担で紙おむつが村内の保育施設に直接届き、無償で行う支援策が始められた。対象にならない村外の施設を利用している児童等への支援は考えないのか。

村長　今後、様々な意見を聞き、子育て世帯からお話があった場合に考えていきたい。

問　村内保育施設でのお昼寝用の布団のリース代をサブスク事業と一体化して県の交付金の対象にはできないのか。

村長　交付金の対象になるのか分からないが、出来るのであれば考えていきたい。

給食費無償化制度

問　本年度から小学校の給食費の無償化制度が始まるがいくら交付されるのか。

村長　給食費負担軽減補助金として１９４５万円が交付される。

問　小学校分の賄い材料費の予算額はいくらか。

村長　３４０人分として計算すると２１５４万円となる。

保育料の無償化

問　３歳児以上の保育料は無償化されている。０～２歳児の保育料と第一子の年齢に関係なく第二子以降の保育料を無償化した場合いくら必要になるのか。

村長　保護者が負担している額は、０～２歳児の場合は約１２７０万円で第二子以降の場合は約６２０万円となる。

第二子以降だけでなく第一子からの児童に対する保育料も平等に無償化することが適当と考えている。

多子支援

問　保育認定の場合、第一子が小学校に入学すると第二子と第三子の保育料が上がる。多子世帯への支援が少子化対策ではないか。

村長　限られた財源の中で総合的なバランスを考えて、紙おむつと在宅育児支援事業を行った。多子世帯の方々のためにも今後は、財源を確保したうえで、そのような方向を模索しながら検討したい。



子どものすこやかな成長を願って

ふるさと納税先に選ばれる村に
企業へも積極的に働きかける



石川（いしかわ）　敏（さとし）議員

寄附金実績

問　本村の令和7年度ふるさと納税による寄附金は、210万円であり県内35市町村で最下位である。
　寄附先として選んでもらえる自治体を目指して、もっと啓発に努めるべきではないか。

村長　個人の寄附金は伸びていないが、企業版ふるさと納税に積極的に取り組んでいる。7年度は10社から1410万円の寄附を受けている。

寄附金の使途

問　ふるさと納税寄附金は自治体の貴重な財源となっている。充当事業内容や金額を公表すべきではないか。

村長　寄附先の意向も踏まえながら、子育てや教育など住民福祉の向上につながる事業に寄附金を充てていく。

ふるさと寄附金実績

	個　人		企業版	
	件数	金額（万円）	件数	金額（万円）
令和4年度	419	476	0	0
令和5年度	580	521	1	100
令和6年度	252	765	5	610
令和7年度	105	210	10	1410

公共施設の指定管理は
さらなるサービスの向上に

利用状況

問　有料施設であるパークゴルフ場、キャンプ場、美術館の利用者数や利用料金の実績は。

村長　令和4年度から7年度までパークゴルフ場は入場者20万8千人、利用料1億490万円。美術館は入場者1万5千人、入場料180万円である。
　キャンプ場は利用者61人、利用料54万円であり、当初見込みより大幅に少ない。

今後の指定管理

問　指定管理に委託している施設は現在6施設であるが、令和9年度以降も継続していくのか。

村長　クリエートパーク、万葉おおひら館、児童館、西部球場と多目的運動施設は引き続き委託していく。
　美術館は9年度から、上北沢排水処理場は実証試験終了後に村直営に移行していきたい。



コンサートも開催している美術館



赤間しづ江（あかましづえ）議員

災害への備えは万全か

ハザードマップを更新する

ハザードマップ

問　東日本大震災の教訓を忘れずに、家庭で出来る安全対策、ハザードマップと連動した防災冊子の作成を考えてはどうか。

村長　自らできる防災対策、非常持ち出し袋の点検を含めた内容のハザードマップを今年度に更新する予定である。

災害備蓄品

問　村の災害備蓄食品、避難所用資機材の管理は適切に行われているか。

村長　保有する備蓄食品は、想定される避難者の3日分をストックしている。

飲料水は、保存水のほか3集会所に各40ｔの貯水槽で確保している。生活関連用品として毛布、マットレス、おむつ、生理用品等、すべての人々に配慮した備蓄品を整えている。

新たに開発された防災用品の情報収集に努め適切に入れ替えを行っている。

デジタル活用の対策

問　最新のデジタル技術を活用し、防災に役立つ対策として村が考えていることはあるか。

村長　防災アプリ「みやぎ防災」を使用した避難所運営訓練を計画している。また、インターネットに接続し、雨雲レーダーやライブカメラでリアルな情報、ハザードマップデータなど災害関連情報を1つに可視化できるもので活用を図りたい。

デジタル技術を活かし、迅速で的確な対応ができるよう取り組んでいく。

防災意識向上

問　防災訓練、防災教室開催で村民の意識をより高める取り組みを。

村長　村全体で実施する防災訓練は、幅広い年齢層に興味を持ってもらえるようにするのが課題である。

小中学生対象の防災教室では、「災害を正しく恐れる」をキーワードに、小学校は○×クイズや避難所設置、中学校ではグループワークを通じて楽しく学べる防災教室を継続していく。



ダンボールベッド作りに挑戦（大衡小学校　防災教室）

災害時協定

問　災害時協定を結んでいる団体とその内容は。

村長　大規模災害に備え市町村相互応援は岩手県金ヶ崎町、山形県山辺町など5自治体と職員派遣の協定を結んでいる。

民間団体等の協定は25件であり、物資供給、輸送、電力通信、福祉避難所関連など専門分野における支援体制を構築している。



早坂（はやさか）　美華（みか）議員

部活動・塾の交通手段確保を
ニーズの把握が必要

問　**中学校部活動や大衡塾に参加したいが、送迎の都合で参加出来ない児童生徒もいるが、交通手段の確保はできないか。**

教育長　部活動は今後地域移行になり、村内での活動になるとは限らない。大衡塾は、スクールバスを運行するとしても乗車する人数が少ない日を考えると難しい。

問　**デマンド型交通「のらいん」は利用できないか。**

村長　実施要項上、乗車ができない。現在利用している人が乗れなくなる可能性もある。移動手段確保は課題であり、今後実態調査も必要であると感じている。

地域おこし協力隊の活動は
精力的に活動中

問　**令和7年7月任用から1年が経過したが、これまでの活動状況は。**

村長　名物グルメ「牛のダムカレー」や「ひら麻呂クッキー」等の商品開発や、本村の魅力・情報発信などをおこなった。村内羊の畜産企業と連携し大衡村産羊肉の販売も始めた。



今後のＰＲ活動にも期待！

問　**3年間の任期も後半に入ったが、残任期で期待する活動は。**

村長　特産品の開発や魅力発信に取り組んでいきながら、任期満了後の定住を視野に入れて将来設計を打ち出してほしい。

移動式動物園の開催を
今後の参考にしていく

問　**万葉キャンプ場やふるさと祭りで移動式動物園の開催を検討できないか。**

村長　集客や世代間交流を図る点では有効な手段ではある。今後の地域交流行事や賑わい創出の参考にする。

問　**地域間交流の減少をどのように捉え、今後の行事等に反映していくのか。**

村長　開催時期や内容について工夫・改善を重ねながら、本村が主催するだけではなく、民間事業者や各種団体など企画力を活用しながら、イベントや交流機会の創出を検討していく。

区長さんから多くの意見が寄せられました

行政区長会と議会の懇談会

令和８年８月20日

問　人口の増加対策として、市街化調整区域や農業振興地域の見直し、遊休農地の活用による宅地開発ができないか。

答　本村は仙塩広域都市計画区域に含まれており、村単独での都市計画区域の見直しは難しい。市街化調整区域内での「地区計画」を策定して宅地開発は可能であり、五反田・大童地区で計画を進めている。空き家も増えており、移住対策として重要である。

問　村道等生活インフラについて住民要望があるが、優先順位はどう判断されているのか。

答　各地区からの要望は多く出されている。事業着手は村長の判断であるが、議会としても地区の要望を村へ訴えていきたい。

問　クリエートパークキャンプ場は利用者が少ない。キャンプ場としての景観や設備等の魅力があるか。利用者数を増やすようＰＲをすべきではないか。

答　キャンプ場の利用は当初見込みより大幅に少ない。整備費には多額の経費がかかっており、費用対効果の面でも課題がある。利用計画等について村へ申し出をしていきたい。

問　来年村議会議員選挙が控えているが、議員定数はどうなるのか。

答　議員活動や委員会構成から現定数12名は妥当と考える。住民の代表としての、議員のなり手確保策にも取り組んでいきたい。

問　イノシシ対策、道路・河川愛護作業が大変である。

答　駆除実施隊でイノシシわなを設置し駆除しているが、出没頭数も多く対応が難しい状況である。
　愛護作業の取り組み内容も多様であり、各地区の実態を村へ意見を出していきたい。

問　０～２歳児の保育料を村で支援できないか。

答　国制度で３歳児以上は保育料は無料である。本村では出生数も減少しており、０～２歳児は少ないので無償化も可能と思われる。子育て支援策の取り組みとして村へ要望していきたい。

問　議会の村への質問に対する事後結果がわからない。議会だよりで周知報告していただきたい。

答　質問内容の追跡調査も必要と考える。議会広報もさらに検討していきたい。

問　村の各行政サービスからみて現在の職員定数は妥当か。

答　4月に行政事務を見直し、庁内課の分離再編を行った。定数は妥当であるが、年齢構成や各課人員のバランスについて差があると思われる。



まとめ

行政区長の意見を「住民の声」として村へ届け、村政に反映させていきたい。

レポート eport

村の課題をチェック

総務民生

調査年月日：令和８年８月７日

紙おむつ支給事業

【事業内容】村の保育施設等に通う０～２歳児の児童が、紙おむつとおしりふきを無償で利用できる。
【予 算 額】130万円
【利用人数】

保育施設	０歳児	１歳児	２歳児	合　計
おおひら万葉こども園	4人	12人	17人	33人
ききょう平保育園	3人	5人	5人	13人

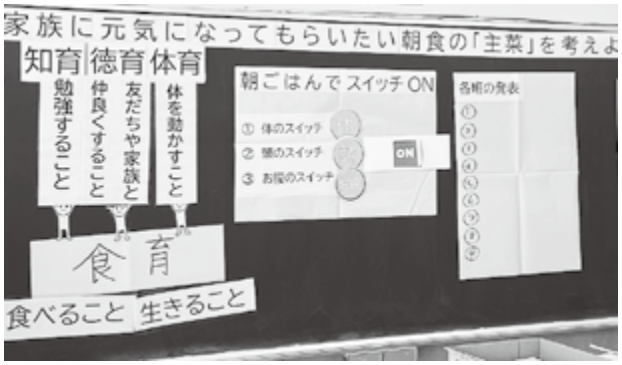
◆調査結果意見

全額公費負担で、保護者が毎日持参する事がなくなり、経済的負担も軽減される。保護者には嬉しい事業がスタートした。



おむつ支給は助かります

食育事業（毎日朝ごはん）



毎日朝ごはんでスイッチＯＮ

【目的】村民が朝食を食べない割合が高い事から、自身の健康を考えるきっかけづくりをする。
【対象】小学６年生と保護者
【内容】６年生が授業の一環として、朝食の主菜を考え給食や授業参観において保護者に食べてもらう。

◆調査結果意見

仙台白百合女子大学との連携事業である。朝食の重要さを親子で学び、毎日の生活習慣につなげたい。

役場内古紙回収

【回 収 物】新聞・雑誌・ダンボール
【利用時間】平日午前８時30分～午後５時
（役場閉庁時は利用不可）
【回収実績】

	回収量(kg)	販売金額
令和６年	16,570	135,135円
令和７年	17,540	144,322円
令和８年	6,760	52,085円

※令和８年は７月末時点

◆調査結果意見

ゴミの減量化とリサイクルを促進し、資源の循環と環境負荷低減を図られたい。



役場内古紙回収倉庫

産業教育委員会R

調査年月日：令和８年８月18日

上北沢排水処理施設実証試験

地区	検査地点	pH	Fe
新戸口	蛇腹水路出口	6.50	27.47
	人工湿地入口	6.65	2.56
	人工湿地中間	6.74	0.80
	放流口	7.19	0.37
楳　田	人工湿地入口	3.63	2.35
	人工湿地出口	6.43	不検出

人工湿地は石灰石浸透型
・坑廃水処理人工湿地整備土地購入
　面積：25.094㎡　　金額：25,094,000円


自然型坑廃水処理方式

◆調査結果意見

実証試験の結果と委員会の意見を参考に本格稼働を早期に進められたい。

万葉おどり練習会（大衡小学校）


上手になりたい万葉おどり

【対　象】小学校３年生
【指導者】万葉おどりききょう会
【内　容】夏休み前に１クラスあたり３回開催された。

◆調査結果意見

子供たちの様子を見て、音楽発表会で披露出来たらよい。
今後も子供たちを通じ万葉おどりの伝承に努められたい。

上下水道窓口業務の委託

【業務内容】窓口、受付業務、電話対応、開閉栓、メーター検針業務、調定、収納、滞納整理に関する業務、メーター管理業務、電子計算処理業務
【委託業者】第一環境株式会社東北支店
【契約期間】令和８年10月１日～令和９年３月31日
【契約金額】7,451,400円

◆調査結果意見

事務の正確性と住民サービスが疎かにならないよう十分な管理で事業を進められたい。


新たな業務委託へ

おおひら 議会だより
No.210　2026年10月29日発行

わたしの夢



大衡小学校　6年
千葉（ちば）さくら さん

お客さんを笑顔に

私の将来の夢はドレスコーディネーターです。

理由は、結婚式に行ったときに見たドレスがとてもすてきで、感動したからです。

仕事の内容を調べてみると、ヒアリングや試着のサポート、ブーケなどのトータルコーディネートがありました。

この夢を叶えるために、ていねいな話し方を日頃から心がけ、たくさんのお客さんを満足させ、笑顔にしたいです。



大衡中学校　2年
千葉（ちば）　明奈（あきな） さん

教育に関わる

私の将来の夢は、教育に携わる仕事に就くことです。

中学生になり、私は初めてのことに挑戦することが多くなりました。

今まで挑戦し経験したこと、これから経験することから、未来の子どもたちに挑戦することの大切さを伝えたいと思ったことが、この夢を持つようになったきっかけです。

夢の実現に向けて今まで以上に勉強し、これからも多くのことに挑戦し続けたいと思います。

みんなの声

「近年の自然災害」

大森　文屋（ぶんや）　勉（つとむ） さん

近年、自然災害が頻発し被災された方々の心情を察すると、やり切れない思いです。

熊本地方の地震、台風による千葉・神奈川県の洪水被害など、自然災害の恐ろしさを改めて思い知らされた気がします。

マスコミの報道取材を受けた被災者は「頭の中が真っ白になり何も考えられない」、農家の方は「離農を考える瀬戸際」、養魚場の経営者は「施設がすべて水没し、養殖中の魚も失ってしまった」などと、映像を見るたびに心が痛みます。

また、人的被害、住宅被害も計り知れない損害に至っています。

一方、国外では、中国・ネパールの国境地帯で大規模な土石流が発生し多数の被害が出ました。

いずれの被害も復旧復興には相当の期間や費用を要するものと思いますが、一日も早く通常の生活に戻られるよう祈らずにはいられません。



表紙写真

さわやかな秋晴れのもと、万葉キャンプ場でスポーツ交流会が開催され、玉入れなどスポーツ体験に多くの方が参加されました。

あとがき

日ごとに木々も色づきが増し、朝夕の冷え込みに秋の深まりを感じる頃、区長会との懇談会を通して多くの声を伺いました。

その声を生かし、議会活動や、より良い村づくりに繋げていきます。

小川　克也

大衡村議会
広報広聴常任委員会
委員長　赤間しづ江
広報分科会
会長　石川　敏
副会長　小川　克也
委員　鈴木　和信
〃　早坂　美華
〃　山本　信悟
発行責任者
議長　髙橋　浩之

〒981-3692　宮城県黒川郡大衡村大衡字平林62
TEL022-345-6030　FAX022-341-2445（年4回発行）
E-mail　gikai@village.ohira.miyagi.jp
議会ホームページ　https://www.village.ohira.miyagi.jp/site/gikai/

VEGETABLE OIL INK　再生紙を使用しています